第2回八千代町公共交通会議 議事録（要旨）

日 時：令和7年1月21日（火） 13：30～14：30

場 所：八千代町役場 本庁舎4階 大会議室

出席委員：19名

大里委員（会長）、大久保委員（副会長）、鈴木委員（副会長）
上野委員、生井委員、小菅（康）委員、横島委員、廣瀬委員、鹿内委員（代理：主事 渡邊稜）、
兼澤委員（代理：道路管理課長 浜野博英）、大郷委員（代理：交通課係長 風見裕晴）、
須賀委員、沢木（雅）委員、沢木（民）委員（代理：小島取締役部長）、
青木委員（代理：須藤秀典）、塚原委員、木瀬委員、馬場委員、野中委員

欠席委員：6名

橋本委員、小菅（達）委員、古賀委員、服部委員、和田委員、加藤委員

事務局：3名

八千代町まちづくり推進課 齊藤、坪松、秋葉

次 第：1 開会

2 あいさつ

3 議事

(1) 八千代町デマンド交通「八菜まわ～る号」の運行状況について・・・・・・資料1

(2) 地域公共交通確保維持改善事業の事業評価（案）・・・・・・資料2

5 閉会

1. 開 会

2. あいさつ

〔会長より、令和6年度第2回公共交通会議にあたってのあいさつ〕

3. 議事

〔事務局より（1）八千代町デマンド交通「八菜まわ～る号」の運行状況について説明〕

〔資料1 1～5ページ〕

【質疑・意見等】

委 員： 年間運行委託料として15,774,000円を事業者3社に支払っているということによろしい
ですか。

事 務 局： そのとおりでございます。

委 員： 委託料は3社どういう配分比率ですか。

事 務 局： 3社均等に支払われています。

委 員： 運行日数239日というのは運行可能な日ですか、それとも運行した日が239日ですか。
239日運行したかどうかに関わらず、支払っていますか。

事務局： 運行日という事で、走っても走らなくとも 239 日でございます。

委員： 239 日 3 社稼働しているという解釈でいいですか。

事務局： そのとおりでございます。

委員： 事業全体で、約 1,700 万円を町一般財源で負担しているということでもいいですか。

事務局： はい。

委員： 分かりました。

会長： 他に質問ございませんか。

委員： 3 ページ目の資料を見ますと、今年度の利用者数は順調に伸びているように見受けられますが、以前は大体 1 日あたり 13、14 人でした。現在 1 日あたり 20 人を超えるような状況になって、乗れない方や予約が取れないなど発生していないか気になります。

事務局： そういった場合、30 分後の便を紹介するような流れを取っております。
交通事業者さんの方ではいかがでしょうか。

委員： 予約状況はオペレーターでやっていますので、事業者は把握しておりませんが、去年と比べると稼働量は圧倒的に増えています。走行距離も 3 倍近く増えています。

会長： 利用者が集中する曜日はいつが多いでしょうか。

事務局： 主に週末の金曜日が多い傾向です。他には連休前の曜日や週始めの曜日が多い傾向にあります。八菜まわ～る号が運休日の土、日曜日に外出出来ない方が、週始めの曜日に利用されます。

会長： 利用するが、帰りが読めないというのが一番の課題だと聞きますが、それについてはどう考えていますか。この辺を改善していかないと、町の一般財源の負担も減っていかないので、改善の余地があるのではと思います。憩遊館のような施設も、帰りが心配なので使わないという意見が多いです。そこら辺の考えを聞かせてください。

事務局： 利便性の向上を図る目的とし、以前は 1 時間前までに、その日の便の予約が可能でしたが、運行ダイヤ改定に伴い、30 分前までであれば、予約可能という変更も実施しました。

医療機関を利用した場合、診察が終わり、あとは薬局に行くだけの時に帰りの予約を促しております。予約可能時間の短縮したことで、待ち時間が少なくなり使いやすくなったという、お声もあります。

補足ですが、憩遊館の利用につきまして、9 ヶ月間で 50 回ほど憩遊館を利用された方がおります。このような方が増えるよう、利用する時間が読めるころの利便性向上を含めた、利用促進を続けていきたいと考えております。

会長： 利用者が送迎時間を間違えたり、お風呂を利用してなかなか来なかったり、そういう話も聞いております。町施設の憩遊館をもっと使ってもらえるよう、お風呂を利用し、何時頃出るなど、受付の方に覚えてもらえれば、何時に迎え来ますよという様に呼びやすい。そうやっていくのもいいのかなと思います。

どうしたら使い勝手が良いのか、そういうのも聞きながらやらないと、利用者にも、まだ少し不便だけど車が無いよりは良いと思ってもらえるような周知をした方が良いと思います。

停留所は多くあるが、利用が無いという話も聞いております。

今年度から 30 分間隔になったので、便利にはなったという人もいますが、周知という点を考えると、現在利用している方でも 30 分間隔になった事を知らない方がまだいると思います。周知不足かなと感じるところもあるので、例えば PR イベントをもうちょっと徹底的にやった方が登録者、利用者も増えていくのではないかと思います。そこをお聞きします。

事務局： 令和6年12月27日時点の実登録者数は958人と申し上げました。その内、令和6年4月1日から12月27日の間に、八菜まわ〜る号を1回以上乗った方というのは160名です。実利用者が少ないというのは、事務局も感じております。PRの仕方等を事務局でも協議しまして、工夫を凝らして進めていこうと思います。

会長： 例えば、祖父母と同居している子ども達がいるわけだから、子ども達から祖父母に説明出来るような出前講座などを実施した方が周知になると思います。事業者の皆さんに協力してもらって30分間隔に運行ダイヤ改定しても、実利用者が少なければ意味がない。やはりPRが一番大事ではと思います。夏まつりや秋まつり等もありますけど、そこで説明ブースを出したり、スーパーカスミでお客さんがいるところでPRイベントをやったりしないとなかなか難しい。今のところは八千代町内しか運行しない。それを他市町村に行きたいというのも、これが成功しないとみんな不安を持つと思うので、PRと実利用者をどうやって増やすのか。登録するのは簡単。登録しても利用しないと意味が無いので、例えば八菜丸くんを乗せて、こういう風に利用出来ますよとYouTubeで動画を流すとか動画をホームページに掲載するなど、分かりやすくやらないと。説明しても捉え方が違う人が結構いますので、30分間隔になったがあまり変わらないという人もいるし、それでは変わっていないと同じなので、文章で難しければ、動画等を利用して、そこら辺のPRの改善は必要なのかなと思います。

事務局： ありがとうございます。

議事（2）地域公共交通確保維持改善事業の事業評価（案）について

〔事務局より（2）地域公共交通確保維持改善事業の事業評価（案）について説明〕

〔資料2 6～9ページ〕

【質疑・意見等】

会長： （2）地域公共交通確保維持改善事業の評価事業評価（案）について、質疑、ご意見等を受けたいと思います。質問等ございませんか。

それでは、（2）地域公共交通確保維持改善事業の事業評価（案）につきましては、原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

委員一同： 異議なし。

会長： 異議なしの声がありましたので、（2）地域公共交通確保維持改善事業の事業評価（案）につきましては、原案のとおり決定されました。

議事（2）地域公共交通確保維持改善事業の事業評価（案）について

【議事（2）承認】

閉 会